

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営			
	1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	医食同源、地域密着、自立して退去する		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	特に、医食同源を心がけ、旬のもの、自然のものを提供しているが、自立して退去することは出来ていない。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念はホーム内に掲示している。来所時は食事を見ていただいたりしている。		
	2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	保存食の交換、季節行事の招待、台風の時のTEL連絡助け合い、医院の紹介等	●	隣に交番所があるので、地域老人の情報交換会を頻繁に取り入れる。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りの参加、餅つきの声掛け	●	町内のみならず、他地域の役員会等で、パンフレット配り、デイサービス体験招待。
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内の役員等と交流を図り、又、施設の説明等し、デイサービスの活用を伝える	●	デイサービスの役割を利用し、会合、交流を深めたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	危険な物(洗剤や薬品)においては、利用者の手の届かないところに保管し、管理している。外部評価の居て要改善を指示されたことに対しては、出来る範囲で職員全員で取り組んでいる	●	利用者の立場に立ち、安全で健全な生活を営むことが出来るように、職員及び運営者は努力をしていく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	まだ、評価及び運営推進会議を行っていない。	●	今後、早急に会議を行い、定期的開催し、得られた意見をサービス向上に生かしたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現時点で、運営推進委員を決定しておらず、会議も実行できていない状態であるため、市町村に対しても相談できていない	●	運営推進委員を決め、会議も行えるようにしていき、市町村との連携が出来るように行っていく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者及び運営者は、地域権利擁護事業や成年後見制度については認識しているが、職員に対しては勉強会などは行っていない	●	今後、必要に応じて勉強会を行っていきたいと思う。
11	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法について勉強会を現時点では行っていないが、虐待についての認識はすべての職員において把握している	●	虐待が見過ごされることもなく、努力も行っているが、今後も今の状態を維持し努めていく。
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、利用者及び家族に対し、一項目ずつ丁寧な説明を行い、不安を持たれている部分に対しては、理解をしていただけるまで時間を掛け説明を行っている。	●	現状維持を今後も続け、家族の不安や疑問に対しては、すぐに対応し、家族側の立場に立て、契約を結んでいく。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話や、来訪時に意見、不満、苦情に対し表せるようにはしているが、特別な機会は設けていない。運営に対しては出来る範囲で反映させている。	●	家族も参加出来るようなイベントを行い、意見、不満、苦情等を表せる機会を増やす。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入金時必要に応じて報告し、家族、施設のコミュニケーションを図り、理解を得る	●	行事参加の呼びかけ
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現時点において電話や来訪時に意見、不満、苦情については、対処しており、かつ、運営にも反映している。	●	今後、家族もイベントに参加できるようにし、意見、不満、苦情に対してもっと表せる機会を設ける。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング、夜勤帯を利用し、理事とも相談して反映	●	目安箱を活用し、アンケートは入社3ヶ月で実施。食事会実施
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家族の要望に対し、必要な時間帯に職員を配置したり、確保する様に努めている。	●	調整できる範囲で、家族の意志に添えるよう、努力していく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最小限に抑える努力はしているが、離職については仕方がないので新しい職員に指導をしている。	●	今後も、全力で利用者様がなじみの管理者や職員による支援を出来るように配慮していく。
	5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要とする研修は受けている。施設内での勉強会を定期的開催している	●	新人教育のシステムを取り入れたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加して、研修を受けている		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	悩んでいる職員と運営者で食事に行き、話しやすい場を作る工夫をしている。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	常に勤務状況を把握するよう心がけている。日に一度は現場へ入り、個々の特性を知り、向上心を持って働けるように関わりを心がけている	●	今後とも、現場に目を向け、個々の努力と実績を認め、向上心へと変わっていけるよう評価できるところはどんどん評価していきたい。
	Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に施設、病院、支援センターを経る事が多いので、サマリー、ケアマネと相談し、本人家族と面接し、入居見学をしていただく。	●	本人と面談の時に、不安が残らないよう、本人が安心するまで、話を聞く機会を作っていくたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	努力している。家族の不安等をしっかり聞き、可能な限り、受け止めていくようにしている。	●	面接以外でも、相談できる機会を作り、安心して利用していただけるように努力していきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の意向を尊重した対応に現時点努めている。	●	今後も、家族の意向を尊重していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	何度か、家族、本人と面談。本人、家族が安心するまで、施設に訪問していただく。または訪問しやすい雰囲気を作っている。	●	今後とも、まず安心をサービス提供出来るように努めていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居前の人間関係を見つめながら、自分自身の老後、又、死に対する心構えを考えさせられる。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	まず、本人中心に考え、家族も支えられる施設であるように努力。	●	目安箱の説明を常々し、時間のあるとき話し、施設行事に誘いを掛ける。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の入居生活の様子や、気持ち等を家族へ情報提供し、又、家族の思いや状況を知ることによって架け橋になっている。	●	引き続き情報提供、収集する。催し物の時は家族を招待し、入居生活を見てもらうようにする。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に関しては制限せず行っている。場所に関しては支援不足である。	●	個々人のこれまでのバックグラウンドに応じて支援していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日常生活を通して、気が合う人との会話等は出来ているようであるが、コミュニケーションが図りづらい人は孤立しているため、スタッフが声を掛けている	●	出来る限り入居者同士は関わりを持てる様、スタッフがブリッジ役となり、輪を作っていくようにする
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	身体的、精神的疾患にて退去された方に関しては、面会等を指定その後のつきあいを大切にしている。	●	これまで童謡、サービス提供後も人間関係を大切にしている。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	訴えや表情、行動等から、情報収集を行い。その都度カンファレンスを行い、必要に応じ家族への情報提供をする	●	よりよい暮らしの提供ができるように、その人らしい日常生活が送れるよう、問題があったら、その都度対応する。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常会話の中から、バッグ区ラウンドを情報収集している。また、家族からも情報収集をしている	●	入居前の暮らしについて、さらに情報収集を行い、その人らしい生活ができるように援助の内容に組み込んでいく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人の、ADLに合わせて、出来ることを行ないよう、又出来るようになる様援助し、個々人に合わせた生活の提供を行なっている。	●	現在有している力を低下させないように、ケアプランに添った、介助や声掛け、又コミュニケーションの充実を図る
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフ間での情報交換や、現在行なっている介護や、その方の状態に合わせて、介護計画を立案しているが、本人・家族がかかわることは無い。	●	立案後、家族への情報提供は行なっていく。必要があれば、家族・本人も交えて、介護計画を立案していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の状態の変化に伴い、それに依じて、介護計画の見直しは行なっているが、家族・本人は交えていない。	●	必要に応じ、家族・本人を交えて介護計画を立案していく。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	SOAPを活かし、ここの状況を把握している。特にS(訴え)とA(アセスメント)に力を入れ、常にアセスメント出来るようスタッフ向上に力を入れている	●	介護者同士、アセスメントを提供し合い、ここの利用者さんに一番適した、ケアプランが立てれるよう、さらにSOAPを実践していきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や友人との交流を赴きに置き、家族や本人の負担にならない程度に、外出支援、面会など実施している。	●	家族や友人との交流を望む利用者の心を、いち早く察知し、可能な限り、家族の理解を得て、交流の場を提供していきたい。
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域密着のグループホームを目指し、常に民生委員と警察との連携をとっている。また、木風小学校との交流を持ち、消防訓練の際は地域の消防団の方を呼び、	●	さらに、地元を開くグループホームを目指し、ゆくゆくは大学生など学生を中心としたボランティアを募り、若者の勉強の場、又交流の場として提供していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性が無いので、行っていない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や、必要性が無いので、協働していない		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診、急変のときはかかりつけ医に往診を頼む	●	普段の往診及び、急変時等に、適切な医療を受けられるように支援していく。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	法人の理事長と、精神科医が関係を築いていたため、認知症の利用者が、診断や治療をスムーズに受診が出来る体制が整っている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携加算体制とすることにより、日常の健康管理や医療行為へのアドバイスを受けている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院に向けた病院とのかかわりは、医療行為との兼ね合いがある為、かかりつけ医との相談に努めているのみ。	●	介護報酬との兼ね合い、長期入院でADL低下等考えられるので、早期退院が可能ならば、可能な限り医師と相談しながら進めていきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族へ契約時に説明し、その後は変化のたびに報告、説明。	●	家族に話し合い時間を作り、意識を高め、グループホーム協議会等で得たことを報告し、緊急時の対応確認。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	定期的勉強会。看護師、ケアマネに質問し医師にも相談。	●	医師、看護師を交えての勉強会実施
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人に安心できるように会話する	●	日常を家族に報告し、コミュニケーションを図る。
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	部屋に入るときは、声掛け、夜間必要な人はドアを少し開けておく。	●	記録は、保管場所を決め、常に意識するように話し合いをする。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ケアプランに添って、その人らしい生活をするように努力	●	アセスメント、記録漏れのないように、看護師の方と勉強会。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務より、一人ひとりの関わりを優先し、その人の希望、興味を観察。	●	動物好きの方の為、動物を飼うのを検討中。宗教(クリスチャン)、ミサにお連れする。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人、家族の希望通りにしている。職員に美容師がいるのでセット・ブローを行なう。	●	日常着、外出着を分けて着替える。化粧をする(マニキュア)口紅、髭剃り
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食卓の配置に気を配り、利用者により塩分、魚の骨、切り方に配慮。	●	一人ひとりが達成感を味わえるように、出来ないことは本人に分からないように援助する。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒に関しては出していない。おやつや好みの物は利用者に聞き取り調査を行い支援している。	●	お酒に対してはイベントに合わせて出していく。飲み物やおやつに対しては選び決められるようにする。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	オムツに対しては、日勤帯、夜勤帯の状況に応じ選び使用。オムツの削減に取り組んでおり、かぶれや、安眠などの状況等も把握し支援している	●	今後も排泄パターンを把握し、個人個人に合わせたオムツ選定を行なう。又、オムツの使用を削減する。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員不足の理由により、利用者の希望に添えていない	●	毎日及び利用者の希望に応じて、入浴出来る様②支援していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	バイタル測定を行い、かつ、観察により体調を把握し、休息していただくよう支援しています。ご本人の生活スタイルに応じて、休息できるよう支援しています。	●	利用者の状況に応じて休息したり眠れるように支援する。体調なども考慮しながら行なう。
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ここ時応じたADL力に応じて日常生活を楽しく過ごせるように、計算や読み書き散歩等行なっている。	●	生活歴を把握し、楽しく日常生活が送れるよう又、有する力を低下させないように、支援していく。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々人の判断力、管理能力に応じて、お金の所持を許可、支援している	●	金銭に対してトラブルがないように、今までどおり判断力、管理能力に応じ支援していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の希望に応じての外出は困難であるが、天候や、体調に応じて、日光浴や散歩を行なっている	●	個々人にあった支援ができるように、要望を取り入れ、戸外へ出かけるようにしていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	動物園への合同外出や花見等、普段は行けない場所への外出をする事により、気分転換が出来る。	●	四季を感じられ、その人らしい生活を送ることが出来るよう支援していく。快の刺激を与える
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話での家族とのコミュニケーションが出来る方には、制限無く行ってもらえるように援助している。手紙等も同様。	●	配慮無く電話でのコミュニケーションが図れるよう支援していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に対しての制限はしておらず、各居室で会話出来るように支援している。	●	訪問されることにより、気分転換が出来、心の安心へもつながるため、次の面会も依頼する等、面会者に対しても感謝を伝える。
	(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、身体拘束に関しては行っていない。	●	今後、状況に応じて、法律に基づいた上で対応していく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員同士で声掛けして、利用者の安全確認をしている	●	目配り、気配りにて安全を配慮する。また、必要に応じて1対1の対応を行い、安全の確保に努めていく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者の所在を把握している。状態に応じて、目が届く場所へ居室を変えたりして、対応している。	●	居室を開けるときは、ノックをしてプライバシーに配慮しながら、所在を把握し、様子を観察していく。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々のレベルに応じ、危険であると判断した物については、職員が管理している。	●	引き続き危険であると判断した物については職員が保管し、安全な生活を提供できるように努める。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員全体で協力し、取り組んでいる	●	リスクを想定し、常に入居者の安全に配慮していく。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	すべての職員が急変の対応が出来るとは言えない	●	全員が出来るように講習会を定期的にする。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	訓練が不足しているため身についていない。近隣の交番や近隣の方々とは日頃より助け合っている。	●	入居者とともに定期的に避難訓練に取り組む
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族等に説明し抑圧感のない暮らしを大切にす様、話し合っている	●	リスクがあるときは、家族への情報提供し出来る限り抑圧感の内容安全な暮らしの提供をしていく
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常生活において常に異常の早期発見に努め、情報を報告し対応している	●	今後も異常の早期発見に努め、その人らしい生活が出来るよう支援していく。協力体制の強化
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解している。常に症状の変化の確認に努めている	●	入居者の疾患や症状に応じた観察を行っていく。また、服薬に対する副作用等の観察もしていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	生活リズム、水分と排泄運動療法と温湿布取り組んでいる。	●	食と排泄、運動と休息のバランスを取り、便秘の予防に努めていく。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自分自身で出来る方は、義歯の洗浄及び歯磨きを行っている。認知症の方や麻痺がある方は、うがい、義歯洗浄はスタッフがやっている。歯科医による定期受診もやっている。毎食後は出来ていない(一人で出来ない方)	●	舌洗浄ブラッシング、毎食後の口腔ケアを行う。義歯や歯の定期受診。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病歴、病状にあわせ、主食の量を変更し、かつ、減塩食やDM食に近い物を作っている。又、水分量に対しても1日のトータルで観察している	●	病歴、病状にあわせた食事を提供する。カロリー計算した食事が提供出来るなら、今後やっていきたいと思う。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを設置し、マニュアルに従い実行している。(インフルエンザについては、ワクチンの予防接種等)	●	手洗い、消毒などの徹底。汚染物の取り扱い方法、予防接種等、今後行う。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所周りの清掃で、洗浄、消毒を行っているが、決められた日数では行っていない。まな板等はハイター消毒している。食材は週3回購入で鮮度は保たれている	●	1週単位で、洗浄、消毒、清掃を行う。
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に関しては、オープンで入りやすい出入り口ではあるが、防犯のため、又建物入り口はセキュリティーを取り入れている。	●	建物周囲、玄関に関してはセキュリティーを行い、安心した出入りが出来るようにしていく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	耳に、心地よい音楽を掛け季節の花を生け、目に優しい光を考え、不快なきように努める	●	ロビーに遊べるような器具を備え、暇をもてあますことがないように出来ればいい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	全員が集まるような感じなので、一人になれるところは自室全員で楽しんでいる。	●	区切りの場所がなく、隠れた場所がないので工夫する。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物を使い、自室は自宅にいるような環境作りを心がけている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝清掃の時、窓を開ける。時間、気温により開ける時間を変える。	●	南、北の部屋により、室温が違うので、こまめに観察する。
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は、バリアフリー構造で、至る所に手すりは設置してある	●	機能訓練の出来る器具を備え、自由な時間に使用できるような、環境を作りたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	家事手伝い、清掃、自室の片付け掃除	●	得意なことを引き出し活用できる時間を作るようにしたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	遠出が出来ないとき、施設の周りを歩ける道、スペースがある	●	空間を利用し、イベントをもっと増やせたらいいと思う。居間は餅つきなどしている。

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○印をつける)
v サービスの成果に関する項目		
88	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	《 ● 》①ほぼ全ての利用者の 《 》②利用者の2/3くらいの 《 》③利用者の1/3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない
90	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	《 》①毎日ある 《 ● 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない
91	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	《 ● 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
92	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	《 ● 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
93	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 ● 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
94	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	《 ● 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	《 ● 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
95	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	《 ● 》①ほぼ全ての家族と 《 》②家族の2/3くらいと 《 》③家族の1/3くらいと 《 》④ほとんどできていない
96	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	《 》①ほぼ毎日のように 《 ● 》②数日に1回程度 《 》③たまに 《 》④ほとんどない
97	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	《 》①大いに増えている 《 ● 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くない
98	○職員は、生き活きと働いている	《 ● 》①ほぼ全ての職員が 《 》②職員の2/3くらいが 《 》③職員の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
99	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	《 ● 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2/3くらいが 《 》③利用者の1/3くらいが 《 》④ほとんどいない
100	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	《 ● 》①ほぼ全ての家族等が 《 》②家族等の2/3くらいが 《 》③家族等の1/3くらいが 《 》④ほとんどできていない